











「食育月間」以外の取組実績  
(食育月間を除く4月～12月の実績)

<b>事例タイトル</b> 「おいしいお米をたべよう」	<b>実施主体：達古袋保育園</b> <b>連携機関：</b>
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お米が出来る過程を振り返り、ごはんを食べられる喜びや感謝の気持ちを育てる。</li> <li>・毎日食べているお米や様々な食材に関心をもち、自分から食べてみようとしたり、体との関係を考えて食事ができるようになる。又たくさんの人の手がかけられていることに気づき、感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>
<b>対象者</b>	全園児と保護者
<b>場所</b>	達古袋保育園
<b>内容</b>	<p>6月7日  &lt;田中さん宅訪問：合鴨放鳥&gt;  合鴨を放鳥に行き田んぼに鴨を放つ事で草を食べてくれる事を学んだ。鳥よけも田中さんと一緒に作りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「あいがもさん、たくさん草をたべてね」「おいしいお米にそだちますように」と声をかけながら合鴨を田んぼに放ちました。</p> <p>9月20日  &lt;親子でのカレー作り&gt;  親子でカレーを作ることで野菜の栄養と体との関係を考えたり、一緒に食べる事で親子の触れ合いや家族間の親睦を深めることが出来た。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p>10月29日  &lt;新米でのおにぎり作り&gt;  ・お米が育つ迄の過程を園児と振り返る。  「お家でも田植えの手伝いしたよ」</p>

	<p>「お父さんが機械で植えてた」等家庭の様子を話しながら振り返った。</p>  <ul style="list-style-type: none"><li>・各家庭で採れた新米を持参して、おにぎり作りをする。</li></ul>   <p>「しろいごはんは甘いね」「お米がきれいだね」と子ども達から喜びの声があがった。普段ごはんが苦手な子どもこの日は「とてもおいしい」と言っていたも以上の食欲であった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・この日は他にも具だくさんの芋の子汁を食べ、様々な野菜に関心を持ちながら食事をした。</li></ul> <p>普段から3色の栄養素についても表をみながら体との関係性を考えた食事をしている。</p> <p>19日には食育だよりを発行している。</p> 
<p><b>成 果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・白米の甘さやおいしさに気づくことが出来たと共に、たくさんの人の手がかかって作られていることに気づき、感謝して食事が出るようになった。又、毎日の弁当を感謝して食べたり、食べ物と体の関係についても意識しながら食事をするようになってきた。</li><li>・家庭での食事の意識も変わり始め、3食の栄養素を意識して食事をするようになり、子ども同士で「今日はみどりの野菜はほうれんそう食べてきたよ」「赤は魚」等と話をする姿も見られるようになってきた。</li></ul>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・弁当の内容や家庭での食事の意識について、各家庭に差が見られる。弁当の内容については、食育だより等でもお知らせしているがマンネリ化してしまうのが現状。</li><li>・就学する子ども達にとって弁当から給食になることへの環境の変化は大きい。家庭でも様々な食べ物、味に親しんでもらえるような発信をしていければと思う。</li></ul>